

モニタリング重要度アンケート結果(中間集計)

090122時点

番号	モニタリング項目	調査内容	評価項目1	評価項目2	評価項目3	評価項目4	評価項目5	評価項目6	評価項目7
			特異な生態系の生産性が維持されていること	海洋生態系と陸上生態系の相互関係が維持されていること	遺産登録時の生物多様性が維持されていること	遺産地域内海域における海洋生態系の保全と持続的な水産資源利用による安定的な漁業が両立されていること	河川工作物による影響が軽減されるなど、サケ科魚類の再生産が可能な河川生態系が維持されていること	エゾシカの高密度状態によって発生する遺産地域の生態系への過度な影響が発生していないこと	レクリエーション利用等の人為的活動と自然環境保全が両立されていること
1	海洋環境の変動把握	航空機による海水分布状況観測	7.1	-	-	7.0	-	-	-
		衛星リモートセンシングによる水温・流水分布・クロロフィルaの観測	6.8	-	-	7.0	-	-	-
		海洋観測ブイによる水温・クロロフィルa・流向・流速の定点観測	6.0	-	-	6.4	-	-	-
		アイスアルジーの生物学的調査(種組成、色素量(クロロフィルa量))	6.3	-	-	5.1	-	-	-
2	主要魚介類の資源動態把握	北海道水産現勢からの漁獲量変動の把握	7.4	-	7.9	-	-	-	
3	根室海峡におけるスケトウダラ個体群の動態把握	スケトウダラの資源状態の把握と評価(TAC設定に係る調査)	7.8	-	-	7.9	-	-	-
		スケトウダラ産卵量調査	7.0	-	-	8.0	-	-	-
		スケトウダラの漁獲量(水産現勢)	-	-	-	7.1	-	-	-
4	トド個体群の動態把握	トド被害実態調査	6.8	-	5.1	8.0	-	-	-
		トドの日本沿岸への来遊頭数の調査、人為的死亡個体の性別、年齢、体長、体重、成熟、胃・腸内容物などのサンプル調査	7.6	-	7.5	6.9	-	-	-
5	アザラシ類個体群の動態把握	アザラシの生息状況の調査	7.1	-	7.0	6.4	-	-	-
		野生鳥獣被害調査	4.0	-	3.0	5.7	-	-	-
6	サケ科魚類生息状況の把握	サケ類の遡上数の変動モニタリング	-	8.7	-	7.7	7.4	-	-
		サケ類の遡上産卵河川数と河川内におけるサケ類の遡上数、産卵場所および産卵床数のモニタリング(No.7を統合)	-	8.3	-	6.9	8.5	-	-
		サケ科魚類の遺伝的多様性の現状と変化に関する調査	-	5.3	-	4.3	4.8	-	-
		サケの漁獲量(水産現勢)	-	-	-	7.0	-	-	-
8	オジロワシ繁殖状況の把握	知床半島全域のオジロワシ営巣地における繁殖の成否、及び、巣立ち幼鳥数のモニタリング	-	6.1	7.6	-	-	-	
9	シマフクロウの生息状況の把握	生息数、繁殖の成否、繁殖率と巣立ち幼鳥数、餌資源などに関する調査。標識や発信器装着による移動分散調査、死亡・傷病個体調査と原因調査。	-	-	7.4	-	-	-	
11	特定重要地域を指標とした生態系の現状に関する総合的把握	陸域の動植物相、及び、生息状況	-	-	-	-	-	-	-
		1) 陸上無脊椎動物(主に昆虫)の生息状況(外来種侵入状況調査含む)	-	3.6	6.1	-	-	4.4	-
		2) 淡水魚類の生息状況、特に知床の淡水魚類相を特徴付けるオショロコマの生息状況(外来種侵入状況調査含む)(No.6-を統合)	-	4.4	6.3	-	-	3.6	-
		3) 中小大型哺乳類の生息状況調査(外来種侵入状況調査含む)(No.10、12を統合)	-	5.4	7.3	-	-	7.0	-
		4) 陸生鳥類生息状況調査	-	4.1	7.0	-	-	5.1	-
		5) エゾシカの影響からの植生の回復状況調査(林野庁1ha囲い区)(No.13-を統合)	-	5.5	6.6	-	-	8.8	-
		6) エゾシカの影響からの植生の回復状況調査(環境省知床囲い区)(No.13-を統合)	-	4.5	6.2	-	-	7.9	-
		7) 密度操作実験対象地域のエゾシカ採食圧調査(No.13-を統合)	-	4.6	5.6	-	-	7.6	-
		8) エゾシカの採食圧の把握に関する広域植生調査。知床半島全域に設定した混合ベルト調査区、及び、海岸植生調査地点など定点、登山道沿いにおける植生現況とエゾシカの採食圧に関する調査。植物のインベントリ調査を兼ねる。(登山道の公園利用影響調査、外来種侵入状況調査含む、No.13-を統合)	-	4.7	6.3	-	-	8.0	-
		9) シレットコスミレの定期的な生育・分布状況調査	-	4.8	7.3	-	-	7.0	-
海域の動植物相、及び、生息状況(浅海域定期調査)	-	5.6	5.5	-	-	3.3	-		
広域植生図の作成	-	5.0	7.3	-	-	7.1	-		
16	海鳥類生息状況の把握	ケイマフリ・ウミネコ・オオセグロカモメ・ウミウの生息数、営巣地分布と営巣数調査	-	5.9	7.0	5.5	-	-	6.5
		調査可能範囲のコロニーでの営巣数調査。あわせて営巣数変動要因調査(営巣環境、餌資源、オオセグロカモメやヒグマによる捕食との関連、観光船等人為的影響)	-	4.7	4.3	4.9	-	-	6.4
17	海ワシ類の越冬状況の把握(主にオジロワシ・オオワシ渡来越冬群)	越冬個体数の調査	-	6.7	-	-	-	-	-
		越冬個体数の季節変動、及び人為的餌資源と自然餌資源の利用状況調査。(オオワシ・オジロワシ保護増殖事業により実施)	-	6.4	-	-	-	-	-
18	海洋汚染調査	海水中の石油、カドミウム、水銀などの分析(表面海水及び海底堆積物の石油、PCB、重金属等の分析)	-	-	-	8.6	-	-	
19	エゾシカの生息状況の把握	エゾシカ越冬群の広域航空カウント(No.19-を統合)	-	-	-	-	-	6.8	-
		主要越冬地における地上カウント調査(ライトセンサスなど)(アライグマなど中型哺乳類外来種のモニタリングを兼ねる)	-	-	-	-	-	8.6	-
		間引き個体、自然死個体などの体重・妊娠率など個体群の質の把握に関する調査	-	-	-	-	-	6.8	-
20	観光利用・住民生活とヒグマとの軋轢の現状把握	目撃・出没状況、被害発生状況に関する調査	-	-	-	-	-	6.9	
22	社会環境の把握(社会環境に関する年次報告書の作成、資料集積)	遺産地域とその周辺部における人口動態・産業活動などに関する既存の各種統計資料の整理	-	-	-	-	-	-	6.3
		国立公園利用状況調査と概要報告の整理	-	-	-	-	-	-	6.1
		遺産地域とその周辺部における各種開発・建設工事などに関する概況の整理	-	-	-	-	-	-	6.9

10...必要不可欠 9...非常に重要 7...重要 5...ある程度重要 3...あまり重要ではない 0...不要

...重要度の点数平均値の高かった上位3つ

赤字 ...重要度の点数平均値が5未満のもの

...世界遺産関連以外の他機関、他事業で実施されているもの。ただし、継続性が保障できないものもある